

令和7年度広島県環境県民局補助金等審査会海洋プラスチックごみ対策費部会 議事要旨

令和7年度海洋プラスチック対策（プラスチック使用量削減等）・リーディングプロジェクト支援補助金について、次のとおり審査した。

1 会議の概要

開催日時	令和7年5月27日（火）10：00～11：10
開催場所	広島県庁南館1階101会議室
開催方法	対面でのプレゼンテーション審査
出席委員名	外部有識者：2名、県職員：3名
議題	令和7年度海洋プラスチック対策（プラスチック使用量削減等）・リーディングプロジェクト支援補助金に係る採択候補事業の選定
担当部署	環境県民局 環境保全課 瀬戸内海環境戦略グループ

2 議事要旨

広島県において、生活由来の海洋プラスチックごみの削減に資するリーディングプロジェクト（先導的な取組）を形成する観点から、(1)の評価項目のうち、「事業趣旨・内容」及び「実装可能性」に重点をおいて審査を行い、(2)のとおり1件を採択候補として選定した。

(1) 評価基準及び評価結果

評価項目	評価の視点	配点	評価点
①事業趣旨・内容	ワンウェイプラスチックの削減やプラスチック代替素材の利用促進、プラスチック資源の3R及びリニューアブルの拡大・高度化に資するものであるか	95	71
②革新性	これまでにない新規性や独創性、革新性を有しており、リーディングプロジェクトとして認められるものであるか	20	14
③実施体制	連携する事業者・団体ごとの役割が明確化されており、サプライチェーン全体による取組であるか	35	26
④実装可能性	市場ニーズや規模を考慮した上で、広島県内又は広島県を含む地域で社会実装化するための出口戦略が明確であるか	50	30
⑤経費の妥当性	計上された予算（経費）及び経費配分が、提案計画内容に見合った内容として、適正なものとなっているか	20	12
合計		220	153

※本結果は、5名の委員の平均点によるものである。

(2) 選定結果及評価コメント

選定結果及び評価コメント	
採択	過年度の取組により把握した課題を踏まえ、新たな事業者や地域を巻き込む計画としており、今後の展開が期待できる。 ただし、取組内容が発散している印象もあるため、実装化に向けた規模やスキームを明確化していく必要性が感じられる。